学校番号	218

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)異文化理解	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	自主作成授業プリント						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の地理的環境や異文化についての学習を行います。より皆さんの関心を高め、理解を促すために DVD 等を用いて学習を行います。
・年間で複数回の調べ学習を行い、資料の作成およびプレゼンテーションをします。情報を収集・選択する能力、資料をまとめる能力、プレゼンテーションの能力、コミュニケーション能力を養います。

2　学習の到達目標

・諸外国の自然・歴史・文化・暮らしを理解し、視野を広げ、国際感覚を身につける。
・さまざまな国や地域に対して興味・関心を持ち、グループや個人でテーマを設定してインターネット等で調べてまとめ、その内容をプレゼンできる力を身につける。
・プレゼンテーションやその準備などを通して表現力・コミュニケーション能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	異文化に対することや地理的事象への関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	異文化に関する事柄や地理的事象を深く考察し、その内容を理解するとともに、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	異文化や地理的事象に関する情報を収集・選択して、適切にまとめ、発表することができる。	異文化に関する事柄や地理的事象についての事柄について、そこに暮らす人々の知恵や地理的条件を関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業プリント 観察等	定期考査 ワークシート プレゼンテーション 観察等	定期考査 ワークシート プレゼンテーション	定期考査 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	熱帯と乾燥帯の暮らしと文化・調べ学習とプレゼンテーション①	・DVD「世界のエコツアー」視聴(熱帯、乾燥帯に関わる項目) ・熱帯、乾燥帯の概要 ・調べ学習とプレゼン①	○ ○ ○	 ○ ○	 ○	○ ○ 	a: 他国の自然や文化、特に熱帯と乾燥帯に属する国に関心を持ち、調べ学習に向けて意識を高められる。 b: どうまとめれば、どうプレゼンすればより良いプレゼンになるかを考え、実際にプレゼンする。 c: インターネット上に溢れかえっている情報から必要な情報を見分けられる。 d: 地誌的な学習をするとともに、なぜこの気候になるかを系統地理的な観点から理解し、基礎知識として習得する。	定期考査 ワークシート プレゼンテーション
2	温帯と冷帯、寒帯の暮らしと文化・調べ学習とプレゼンテーション	・DVD「世界のエコツアー」視聴(温帯、冷帯、寒帯に関わる項目) ・温帯、冷帯、寒帯の概要 ・調べ学習とプレゼン②	○ ○ ○	 ○ ○	 ○	○ ○ 	a: 国の自然や文化、特に温帯と冷帯、寒帯に属する国に関心を持ち、調べ学習に向けて意識を高められる。 b: プレゼンの１回目を踏まえ、より良いプレゼンにするためにすべきことを考え、プレゼンする。 c: インターネット上に溢れかえっている情報から必要な情報を見分けられる。 d: 地誌的な学習をするとともに、なぜこの気候になるかを系統地理的な観点から理解し、基礎知識として習得する。	定期考査 ワークシート プレゼンテーション

3	調べ学習とプレゼンテーション③	・調べ学習とプレゼン③	○	○	○		a: 他国の自然や文化に関心を持ち、調べ学習に向けて意識を高められる。 b: １年間の総まとめとして、どうすればより良いプレゼンになるかを考えて資料を作成し、プレゼンする。 c: インターネット上に溢れかえっている情報から必要な情報を見分けられる。 d: 調べた内容、他グループのプレゼン内容から他国の文化を理解し、基礎知識として習得する。	定期考査 ワークシート プレゼンテーション

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。